

平成30年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年4月20日

上場会社名 株式会社ベクター

上場取引所 東

コード番号 2656 URL <http://www.vector.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶並 伸博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 梶並 京子

TEL 03-5337-6711

定時株主総会開催予定日 平成30年6月19日

有価証券報告書提出予定日 平成30年6月20日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 期間投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	1,275	13.6	233		223		229	
29年3月期	1,475	5.1	67		57		171	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	16.52		16.6	13.5	18.3
29年3月期	12.36		10.8	3.1	4.6

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 百万円 29年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	1,528	1,266	82.8	91.25
29年3月期	1,770	1,498	84.6	108.00

(参考) 自己資本 30年3月期 1,266百万円 29年3月期 1,497百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	152	276	3	1,216
29年3月期	74	365		1,089

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期		0.00		0.00	0.00			
30年3月期		0.00		0.00	0.00			
31年3月期(予想)								

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第1四半期	260	8.5	60		60		62		4.47

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期	14,007,000 株	29年3月期	13,997,000 株
期末自己株式数	30年3月期	127,200 株	29年3月期	127,200 株
期中平均株式数	30年3月期	13,876,484 株	29年3月期	13,869,800 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)におけるわが国経済は、アベノミクス(大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略)の推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな景気回復基調が続いております。海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環につながっております。

当社の事業領域であるオンラインゲーム業界は、パソコン向けのタイトル数が減少する一方で、スマートフォン向けのタイトル数は増加しております。スマートフォンゲームは、表現技術やクオリティを高めるためにゲームの開発に費用や時間をかけるようになり、広告費も増加しております。

ソフトウェア販売を取り巻く環境としましては、国内パソコン出荷台数は市場全体で増加しておりますが、法人市場がプラス、個人市場がマイナスの成長となっております。今後も個人向け市場の低調と法人向け市場の好調が続くと見込まれております。

このような環境のもと、当事業年度のオンラインゲーム事業の営業収益は、前事業年度にサービスを開始したゲームタイトルの不振が当事業年度に与えた影響が大きく、また、当事業年度に開始した新規スマホゲームの業績が当初計画を下回ったこと等により、前事業年度と比べて減収の結果となりました。

ソフトウェア販売事業につきましては、販売施策等が好調に推移したことにより当事業年度の営業収益は前事業年度と比べて増収の結果となりました。法人向け市場が底堅く推移していることも増収の要因であります。

営業費用につきましては、前事業年度と比べて大幅に減少しております。

以上の結果、当事業年度の営業収益は12億75百万円(前事業年度比13.6%減)、営業損失は2億33百万円(前事業年度は67百万円の営業損失)、経常損失は2億23百万円(前事業年度は57百万円の経常損失)、当期純損失2億29百万円(前事業年度は1億71百万円の当期純損失)となりました。

当事業年度のセグメント別販売実績については、以下のとおりであります。

(単位：千円、%)

	第30期3月期		
	金額	前事業年度比	構成比
オンラインゲーム事業	823,565	△18.7	64.6
ソフトウェア販売事業	379,653	2.9	29.8
サイト広告販売事業	49,011	△23.7	3.8
その他	23,026	△21.2	1.8
合計	1,275,256	△13.6	100.0

オンラインゲーム事業

当事業年度におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、8億23百万円(前事業年度比18.7%減)となりました。当事業年度において、ブラウザゲームは平成29年7月に「クリプトアイランド」、平成29年10月に「アステリアの伝説」のサービスを開始したほか、当社運営のゲームポータル「VectorGame」でのチャネリングサービスタイトルが増加しました。スマートフォンゲームについては、平成29年4月に「B.LEAGUE ドリームアリーナ」、平成29年9月に「侵攻のオトメギアス」、平成29年12月に「アビストライブ」のサービスを開始しました。

ゲームの区分と運営タイトル数については以下のとおりであります。

	第29期 期末	第30期		第30期 期末
		増加	減少	
従来型オンラインゲーム ※1	5	—	—	5
ブラウザゲーム ※2	19	11	6	24
スマートフォンゲーム	1	3	—	4
合計	25	14	6	33

(注)1. クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの
2. パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のもの

ソフトウェア販売事業

当事業年度におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、3億79百万円(前事業年度比2.9%増)となりました。ソフトウェアのダウンロード販売事業は、個人向けの有料パソコンソフトの需要は減少傾向が続いていますが、法人向けの販売が堅調に推移したことに加え、各種施策による販売が好調だったことにより前事業年度比で増加しております。

サイト広告販売事業

当事業年度におけるサイト広告販売事業の販売金額は、49百万円(前事業年度比23.7%減)となりました。ネットワーク配信型広告(キーワード広告、ユーザーの傾向を分析する行動ターゲティング広告等)の販売額の最大化を目指して各種施策を実施しておりますが、サイトページビュー数の減少に加えて配信単価が下がったことにより、営業収益は減少しております。

その他

当事業年度におけるその他の販売金額は、23百万円(前事業年度比21.2%減)となりました。その他の販売金額には、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスの販売金額が含まれております。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産合計は、前事業年度末に比べ2億42百万円減少して15億28百万円となりました。また、負債合計が前事業年度末に比べ10百万円減少して2億62百万円となり、純資産合計が前事業年度末に比べ2億31百万円減少して12億66百万円となりました。

(資産)

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が1億26百万円増加したものの、有価証券が4億円、売掛金が18百万円、前払費用が5百万円減少したことによるものです。

固定資産増加の主な要因は、投資その他の資産が11百万円減少したものの、無形固定資産が65百万円増加したこと等によるものです。

(負債)

流動負債増加の主な要因は、買掛金が2百万円、未払金が4百万円及び未払費用が3百万円増加しましたが、預り金が1百万円、賞与引当金が1百万円及びその他が18百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は、退職給付引当金が2百万円増加した一方で、繰延税金負債が2百万円減少したことにより前事業年度末から大きな増減はありませんでした。

(純資産)

純資産減少の主な要因は、当期純損失2億29百万円を計上したこと等によるものです。

また、自己資本比率は82.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度において現金及び現金同等物は、期首残高の10億89百万円から1億26百万円増加し、期末残高が12億16百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純損失2億26百万円から減価償却費63百万円、売上債権の減少額等を差し引いた小計段階で1億53百万円の支出となり、利息及び配当金の受取りと法人税等の支払いを差し引きした結果、1億52百万円の支出(前事業年度は74百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産(ソフトウェア)取得による支出1億32百万円がありましたが、有価証券の売却による4億円の収入、投資有価証券の売却による9百万円の収入等により2億76百万円の収入(前事業年度は3億65百万円の支出)となりました。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせた純現金収支(フリーキャッシュ・フロー)は、1億23百万円の収入超過となり、現金及び現金同等物の残高の増加要因となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株予約権の行使により株式を発行したことによる収入3百万円がありました。(前事業年度の財務活動によるキャッシュ・フローはありませんでした。)

(4) 今後の見通し

当社は、オンラインゲーム事業が主たる事業となっております。当該事業の業績は、ゲームタイトル毎の顧客数、課金率、課金単価の動向に大きく影響を受けます。また、新規性が高い事業であるため、収益変動要因も多く、現段階では合理的な業績予想数値の算定を行うことが困難であります。そのため、第3四半期を除き、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、国内でのIFRSの採用動向を検討した結果、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,089,761	1,216,694
売掛金	174,912	155,930
有価証券	400,000	-
前払費用	12,265	6,964
その他	24,823	27,279
流動資産合計	1,701,763	1,406,868
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,940	8,940
減価償却累計額	△7,497	△7,727
建物(純額)	1,443	1,213
車両運搬具	2,826	2,826
減価償却累計額	△2,769	△2,797
車両運搬具(純額)	56	28
工具、器具及び備品	128,476	128,476
減価償却累計額及び減損損失累計額	△126,852	△127,383
工具、器具及び備品(純額)	1,623	1,092
有形固定資産合計	3,123	2,334
無形固定資産		
ソフトウェア	18,718	63,695
その他	1,302	21,776
無形固定資産合計	20,020	85,471
投資その他の資産		
投資有価証券	9,868	-
長期前払費用	107	462
敷金	35,805	33,514
投資その他の資産合計	45,781	33,976
固定資産合計	68,925	121,782
資産合計	1,770,689	1,528,651

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,133	79,494
未払金	46,043	50,299
未払費用	10,343	13,428
未払法人税等	8,786	8,107
前受金	7,186	8,586
預り金	34,829	33,310
賞与引当金	25,214	24,139
その他	18,177	0
流動負債合計	227,715	217,365
固定負債		
退職給付引当金	42,600	44,808
繰延税金負債	2,360	-
固定負債合計	44,960	44,808
負債合計	272,676	262,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,210	1,018,718
資本剰余金		
資本準備金	356,208	357,715
その他資本剰余金	1,050,000	1,050,000
資本剰余金合計	1,406,208	1,407,715
利益剰余金		
利益準備金	750	750
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△836,572	△1,065,760
利益剰余金合計	△835,822	△1,065,010
自己株式	△94,952	△94,952
株主資本合計	1,492,644	1,266,471
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,347	-
評価・換算差額等合計	5,347	-
新株予約権	20	5
純資産合計	1,498,012	1,266,477
負債純資産合計	1,770,689	1,528,651

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業収益		
売上高	1,475,361	1,275,256
営業収益合計	1,475,361	1,275,256
営業費用		
ソフトウェア販売原価	259,431	264,424
オンラインゲームロイヤリティ	214,035	154,727
支払手数料	268,301	262,056
広告宣伝費	73,812	161,629
給料手当及び賞与	324,899	290,878
賞与引当金繰入額	24,022	22,605
通信費	63,217	54,758
減価償却費	75,679	63,985
その他	239,637	233,839
営業費用合計	1,543,038	1,508,904
営業損失(△)	△67,676	△233,648
営業外収益		
受取利息	21	4
有価証券利息	3,368	1,752
受取配当金	170	170
受取手数料	662	586
為替差益	-	365
有価証券売却益	-	7,823
違約金収入	5,904	-
その他	126	5
営業外収益合計	10,254	10,707
営業外費用		
株式交付費	-	60
為替差損	26	-
営業外費用合計	26	60
経常損失(△)	△57,448	△223,001
特別損失		
固定資産除却損	1,951	-
減損損失	109,685	3,896
特別損失合計	111,636	3,896
税引前当期純損失(△)	△169,084	△226,897
法人税、住民税及び事業税	2,290	2,290
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	2,290	2,290
当期純損失(△)	△171,374	△229,187

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,017,210	356,208	1,050,000	1,406,208	750	△665,197	△664,447
当期変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	-	-	-	-	-	-	-
当期純損失(△)	-	-	-	-	-	△171,374	△171,374
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△171,374	△171,374
当期末残高	1,017,210	356,208	1,050,000	1,406,208	750	△836,572	△835,822

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△94,952	1,664,019	4,881	4,881	20	1,668,921
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)	-	-	-	-	-	-
当期純損失(△)	-	△171,374	-	-	-	△171,374
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	466	466	-	466
当期変動額合計	-	△171,374	466	466	-	△170,908
当期末残高	△94,952	1,492,644	5,347	5,347	20	1,498,012

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,017,210	356,208	1,050,000	1,406,208	750	△836,572	△835,822
当期変動額							
新株の発行(新株予 約権の行使)	1,507	1,507	-	1,507	-	-	-
当期純損失(△)	-	-	-	-	-	△229,187	△229,187
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	1,507	1,507	-	1,507	-	△229,187	△229,187
当期末残高	1,018,718	357,715	1,050,000	1,407,715	750	△1,065,760	△1,065,010

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△94,952	1,492,644	5,347	5,347	20	1,498,012
当期変動額						
新株の発行(新株予 約権の行使)	-	3,014	-	-	-	3,014
当期純損失(△)	-	△229,187	-	-	-	△229,187
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	-	-	△5,347	△5,347	△14	△5,362
当期変動額合計	-	△226,172	△5,347	△5,347	△14	△231,535
当期末残高	△94,952	1,266,471	-	-	5	1,266,477

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純損失(△)	△169,084	△226,897
減価償却費	75,679	63,985
減損損失	109,685	3,896
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,063	2,207
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,353	△1,075
受取利息及び受取配当金	△3,560	△1,927
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△7,823
固定資産除却損	1,951	-
為替差損益(△は益)	444	-
売上債権の増減額(△は増加)	23,152	24,396
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,773	2,360
預り金の増減額(△は減少)	2,203	△1,518
未払又は未収消費税等の増減額	26,488	△24,852
その他	6,136	14,244
小計	74,032	△153,003
利息及び配当金の受取額	3,146	2,647
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,845	△2,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,333	△152,557
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△500,000	-
有価証券の売却による収入	200,000	400,000
投資有価証券の売却による収入	-	9,984
無形固定資産の取得による支出	△58,315	△132,990
長期前払費用の取得による支出	-	△504
敷金の差入による支出	△7,141	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365,457	276,489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	3,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	△444	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△291,567	126,932
現金及び現金同等物の期首残高	1,381,329	1,089,761
現金及び現金同等物の期末残高	1,089,761	1,216,694

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は本社に事業別の部署を置き、各部署は取扱う事業サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、オンラインゲーム事業、ソフトウェア販売事業、サイト広告販売事業の3つを報告セグメントとしております。

なお、オンラインゲーム事業は、オンラインゲームの企画・運営・配信業務を行っております。ソフトウェア販売事業は、ソフトダウンロード販売(プロレジ・サービス、シェアレジ・サービス)、ソフトハウス向けダウンロード販売総合支援サービス業務などを行っております。サイト広告販売事業は、Web広告販売、メール広告販売業務などを行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、セグメント間の内部売上高及び振替高はありません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,012,736	369,118	64,269	1,446,123	29,238	1,475,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,012,736	369,118	64,269	1,446,123	29,238	1,475,361
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△27,248	7,728	13,124	△6,395	△6,527	△12,923
セグメント資産	171,749	50,570	7,121	229,441	4,150	233,592
その他の項目						
減価償却費	69,579	358	204	70,142	5,537	75,679
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	51,238	—	—	51,238	1,071	52,310

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ゲーム以外のスマートフォン向けサービスを含んでおります。

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウエ ア販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	823,565	379,653	49,011	1,252,229	23,026	1,275,256
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	823,565	379,653	49,011	1,252,229	23,026	1,275,256
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△194,366	18,860	3,804	△171,701	6,759	△164,942
セグメント資産	217,155	46,906	4,692	268,753	2,043	270,797
その他の項目						
減価償却費	63,062	89	59	63,211	773	63,985
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	132,544	—	—	132,544	—	132,544

4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	1,446,123	1,252,229
「その他」の区分の売上高	29,238	23,026
セグメント間取引消去	—	—
財務諸表の売上高	1,475,361	1,275,256

(単位:千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	△6,395	△171,701
「その他」の区分の損失(△)	△6,527	6,759
セグメント間取引消去	—	—
全社費用(注)	△54,752	△68,706
財務諸表の営業損失(△)	△67,676	△233,648

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

(単位:千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	229,441	268,753
「その他」の区分の資産	4,150	2,043
全社資産(注)	1,537,096	1,257,854
その他の調整額	—	—
財務諸表の資産合計	1,770,689	1,528,651

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余裕運用資金(現金及び預金等)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	70,142	63,211	5,537	773	—	—	75,679	63,985
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	51,238	132,544	1,071	—	—	—	52,310	132,544

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

【関連情報】

前事業年度(平成29年3月31日)及び当事業年度(平成30年3月31日)

1. サービスごとの情報

セグメント情報の中に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦における売上高が90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計			
減損損失	106,604	—	—	106,604	3,080	—	109,685

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計			
減損損失	3,896	—	—	3,896	—	—	3,896

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	108.00円	91.25円
1株当たり当期純損失金額	△12.36円	△16.52円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純損失(千円)	△171,374	△229,187
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純損失(千円)	△171,374	△229,187
普通株式の期中平均株式数(株)	13,869,800	13,876,484

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,498,012	1,266,477
純資産の部の合計から控除する金額(千円)	20	5
(うち、新株予約権(千円))	(20)	(5)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,497,992	1,266,471
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	13,869,800	13,879,800

(重要な後発事象)

該当事項はありません。